

お知らせ

課名	健康推進課
担当	池内、古山、松岡
内線	3472、3476、3478
直通	226-7331

エムポックス患者の発生について

次のとおり、エムポックス（旧サル痘※）患者の発生がありましたので、お知らせします。

なお、県内におけるエムポックス患者発生の報告は、今回が初めてとなります。報道機関各位におかれましては、患者様や御家族などが特定されないよう、個人情報に御配慮いただきますようお願いいたします。

1 患者の概要

年代	30代
性別	男性
居住自治体	県内
症状	発熱、発疹、咽頭痛、倦怠感
発生報告日	令和5年11月7日
海外渡航歴	なし
患者の状況	患者の症状は回復している

2 エムポックスとは

【概要】

- ・エムポックスは、エムポックスウイルスによる急性発疹性疾患で、日本では感染症法上の4類感染症に指定されています。
- ・国内では令和4年7月に1例目の患者が確認されて以降、令和5年11月10日時点で218例報告されています。

【潜伏期間・症状】

- ・潜伏期間は7～14日（最大5～21日）とされており、潜伏期間の後に、発疹、発熱、倦怠感、リンパ節の腫れなどの症状がみられ、多くは2～4週間ほどで自然に治ります。

【感染経路】

- ・主に感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液との接触により感染するとされています。

3 症状が現れた時の対応

医療機関を受診、または居住地を管轄する保健所へご相談ください。

医療機関を受診する際は、マスクの着用や発疹部位をガーゼで覆うなどの対策を行ってください。

4 参考

厚生労働省ホームページ(外部サイトへリンク)：エムポックスに関するQ&A
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/monkeypox_qa.html

※令和5年5月26日に「サル痘」から「エムポックス」に感染症法上の名称が変更されました。